

どう反映、議会提言

「未来への投資」(教育費)



暮らしを守るための提言



寄居町消防団第1分団詰所建設予定地。詰所と共に川北防災備蓄拠点となる防災倉庫約8棟分の面積を持つ備蓄倉庫を併設予定。隣接する省宮公園との景観に配慮したものとなる。(右下円内は現在の詰所)

私も提言



家が密集しないまちづくりを
桜沢地区は学校が3つあり、災害時に避難できる場所が近いので少し安心です。家が密集しないまちづくりを望みます。中島祥江さん(桜沢)

予算化実現!

- 消防団充実強化事業 8308万円 (第1分団詰所建設、第7分団消防ポンプ自動車更新)
- 自主防災組織補助金 293万円
- 防災啓発事業 63万円 (ハザードマップ関連)

ギカイ議論

消防団の団員確保と報酬についての町の方針は。消防団の定数155名のところ150名(5名欠員)、平均年齢は39歳です。報酬はほぼ県平均を超える額としていますが、今後さらに、団員補充のため検討していきます。

ギカイの視点

高めたい「自助・共助」

自主防災組織は67行政区全てに設置できている。各組織間の活発な情報交換の推進や、消防団の充実も含めた自助共助の力を。

最新版が出ました! 「寄居町ハザードマップ」



「守る! 生命・身体・財産」
防災減災

人を育てるための提言

私も推進



進んでいます 学校現場のICT化

町内小中学校の先生方や子どもたちに学習ソフトやタブレットの操作、オンライン授業のサポート等の支援をしています。皆さん積極的に学ばれていて、学校現場のICT化は着実に進んでいると感じます。ICT支援員 松崎美之さん(男衾) ※4月6日取材

予算化実現!

- 男衾中学校長寿命化改修事業 3493万円
- 城南中学校区小中学校集約化事業 750万円
- 学力向上対策事業 1951万円 (よりE土曜塾、よりE小学生英語塾、算数検定無償化)

- GIGAスクール構想事業 3297万円 (端末リース料、デジタル教科書使用料ほか)
- ICT支援員派遣事業 921万円

ギカイ議論

外国語指導助手(ALT)派遣料1089万円の内容は。小学校3・4年生は年間35時間、小学校5・6年生は70時間で小学校6校を3人のALTが分担して指導に当たっています。

ギカイの視点

10年後の日本は大丈夫?

英語を母国語としない112の国と地域における「英語能力指数」。日本は…
2019年…53位 2020年…55位 2021年…78位
アジアでの順位は24か国中13位。
11年連続で国際順位が下落している。



自分のリミット(限界)をつくらず挑戦を

——寄居で生まれ育った萌さんの原点は何ですか。

小さい頃から寄居町の自然の中で大らかに伸び伸びと育ったこと、それが今の私の原点です。柔道を始めた男衾中2年の時に男衾柔道クラブの国際交流で初めてオーストラリアへ。3年の時には団体戦で関東大会出場を果たすかたわら、顧問の先生が勉強もしっかりと見てくれ、文武両道を貫くことができました。

——海外へ挑戦する上での語学の重要性は。

私は、英語は中学校でスタートしましたが、近所の英会話教室にも通いました。中学、高校時代に柔道を通じた海外の選手との国際交流も英語のスキルを上げるモチベーションになりましたね。その後、イギリス系英検IELTSの基準を突破し、オーストラリア国立大学 自然科学専攻への進学を果たしました。英語の習得には実践も大事ですね。

——寄居の子どもたちが夢を叶えるために大切なことは。

自身のリミット(限界)をこらさず挑戦していくことの「勇気」が大切だと思います。私は、大学卒業後、在オーストラリア日本国大使館の職員や柔道ナショナルチームのコーチに就任。柔道を通して世界が広がったことへの感謝は尽きません。恩返しのできる国際交流をサポートする会社を起業しました。

“ふるさと寄居”の発展にも貢献していきたいと考えています。(男衾中学校柔道場にて4月10日取材)

よりの人

Interview さきお もえ 崎尾 萌さん [男衾中出身]



オーストラリアメルボルン在住
Support a Star代表取締役
NPO法人
スポーツコーチングアカデミア理事